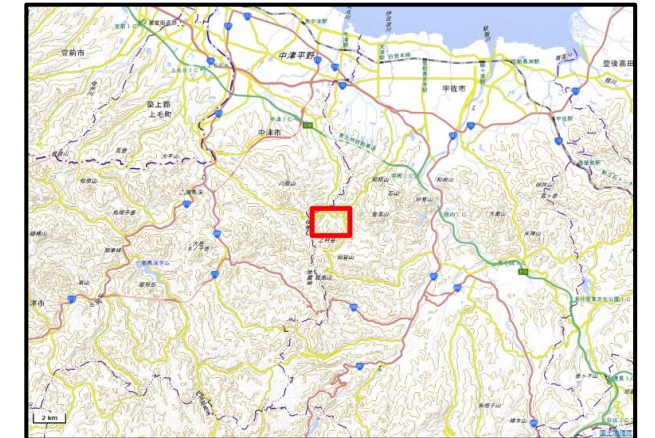
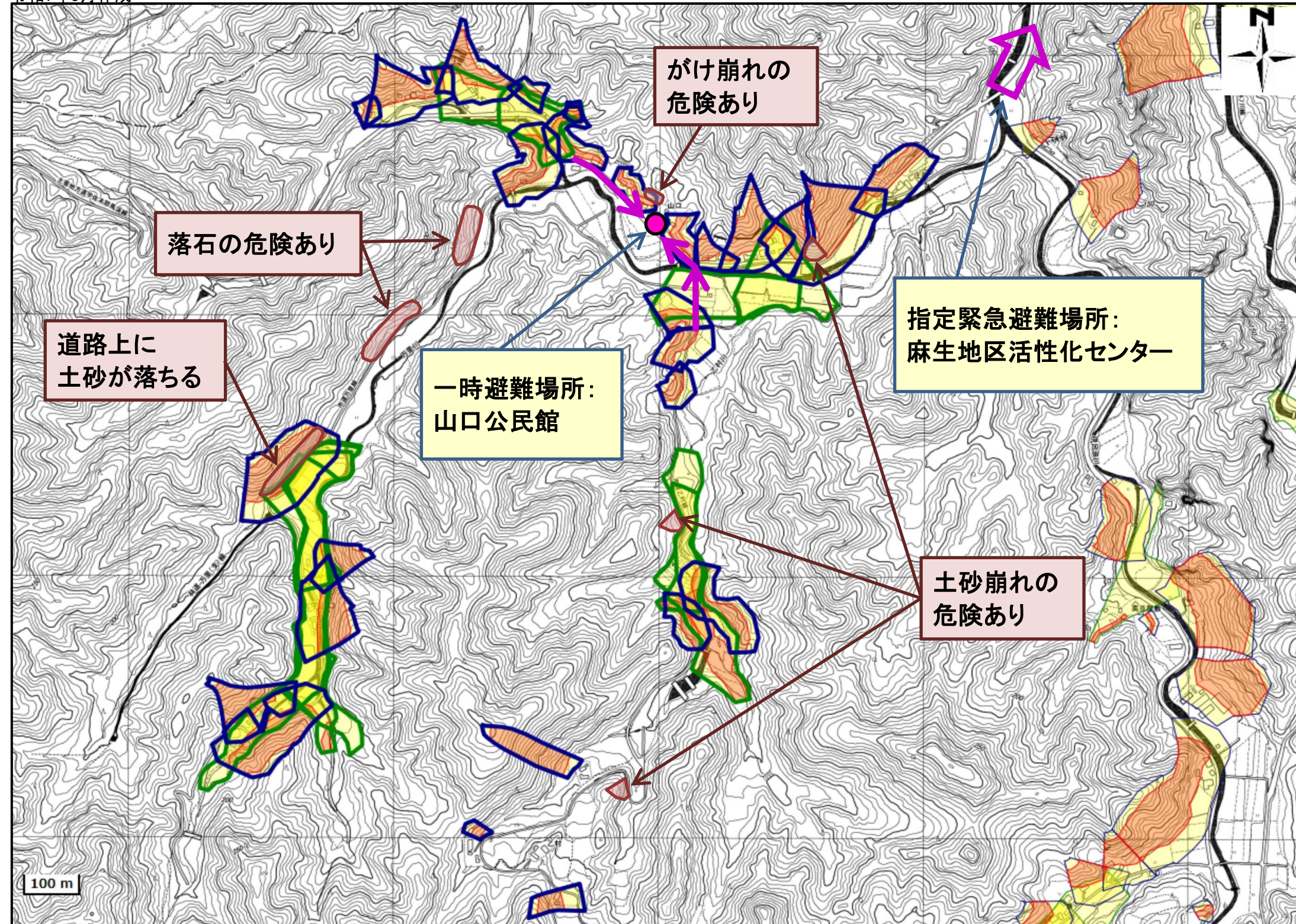




令和7年3月作成



位置図(広域)

項 目	記号
土砂災害警戒区域(土石流)	
土砂災害警戒区域(急傾斜)	
土砂災害警戒区域(地すべり)	
土砂災害特別警戒区域	
指定避難所・指定緊急避難場所	
一時避難場所	
危険が想定される区域	
主要な避難路	
注意事項	
避難場所の説明	

この地図は、大分県森林資源情報データ(ダウンロード)から作成したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2KUs3)」

- 黄色でぬりつぶされた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
- 赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
- 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。
 - また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。

土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

日頃からの確認



①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！



②テレビやラジオ、インターネット等で気象情報を確認しましょう。

○警戒レベル3(高齢者等避難)や警戒レベル4(避難指示)が発令されたら、安全な場所への早めの避難を心がけてください。
○最新の土砂災害警戒区域等は大分県のサイトより確認してください。

https://sabo-oita.jp/dosya_map/



雨が強くなってきたら



③危険を感じたら安全な場所へ早めに避難しましょう。(自主避難)

指定避難所等への移動が困難な場合は自宅の2階に垂直避難するなど命を守る行動をしてください。

前兆現象の一例



- ①がけから小石がバラバラ落ちてくる。
- ②樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③斜面から水がわき出る。
- ④斜面にひび割れができる。

※土砂災害は、前兆現象がなく発生する場合もあります

出典:国土交通省

避難のときは



④避難指示等の連絡があったら直ちに避難しましょう！

⑤避難の際はこんなことに気をつけましょう！

- ・溪流から垂直方向に避難し、できるだけ溪流から離れましょう。
- ・避難場所へ避難する際は、土砂災害警戒区域等や浸水想定区域を避けた避難経路を選択しましょう。

避難指示発令や前兆現象発見

避難

一時避難場所

山口公民館

指定緊急避難場所

麻生地区活性化センター

通報先

宇佐市役所 危機管理課
電話:27-8111※

安心院支所
電話:44-1111

院内支所
電話:42-5111

宇佐市消防署
電話:32-0119 (119)

宇佐警察署
電話:32-2131(110)

ハザードマップを活用した定期的な訓練への参加を心掛けましょう。

～雨の強さと災害の発生状況～

※時間外・休日は代表番号(32-1111)へ

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20～30ミリ	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50～80ミリ	滝のように降る	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。